

3月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

92,600円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

|                    |         |
|--------------------|---------|
| 印刷代(月刊武松用紙代)       | 19,720円 |
| 交通費(駐車場、燃料代)       | 14,851円 |
| 通信費(折込代、携帯電話代)     | 58,029円 |
| 支出計 25/3/1~25/3/31 | 92,600円 |

# 市政を考える 月刊武松

発行日  
25/4/1

たけまつ ただし  
頒布責任者：武松 忠(市議会議員)

第226号

19400部発行

## 2025年度予算案を修正

分野別市民会議と主権者教育の二つの新事業を削除した修正案が可決

2025年度一般会計当初予算の修正案が可決しました。削除された2件の概要と削除理由の概要をお知らせします。

### ■分野別市民会議について

#### 1 目的

持続可能な地域社会の実現を目指し、課題解決の取組に市民が参画する機会を拡充し、まち全体の課題解決力を高めていくため、分野別市民会議を創設する。

#### 2 事業概要

- (1)市民・団体・行政が集い、各分野の課題認識や取組の現状を共有し、施策や事業に生かす。
- (2)地域の課題解決に資する協働事業をともに模索し、今後の実践に繋げていく。
- (3)会議は、各分野で年4回程度開催する。

#### 3 会議構成等

##### (1)分野

次の8分野で構成する。

- ①福祉・健康 ②環境 ③こども ④地域コミュニティ ⑤経済 ⑥文化 ⑦まちづくり ⑧行財政運営

##### (2)構成員

- A 活動団体の事務担当者等(10名程度)
- I 学識経験者(1・2名)

##### (3)その他

「附属機関及び懇談会等に関する要綱」に基づき、市民等から意見を聴取するため「懇談会等」として設置する。

#### 4 予算額

報償費 147.2万円

内訳 学識経験者1万円×1人×8分野×4回  
その他 3千円×12人×8分野×4回

### ■削除理由

- ①既存の会議体との重複
- ②人選の公平性が担保が困難
- ③予算議決前に各団体等へ打診

### ■主権者教育推進事業について

#### 1 目的

国や社会の問題を自分の問題としてとらえ、自ら考え、自ら判断し、自ら行動することでその発展に寄与できる主権者として求められる力を育成する教育を行う。

#### 2 概要

政治や地域の課題を自分事と意識づけ参画する意識と知識を身に付けるため、小学生議会、中学生議会を開催し、実際に税金の使途について議論する。

令和7年度は、中学生を対象に子ども議会実行委員会を立ち上げ、令和8年度以降に実施する子ども議会に向けた準備を行うとともに、中学1年生を対象に、講師を招いて市政の学習を行う。

#### 3 内容

##### (1)子ども議会の運営方法の検討(令和7年度)

子ども議会実行委員会にて、子ども議会の在り方を検討する。

##### (2)小中学校における市政の学習

A 令和7年度 各校において講師を招いて市政について学習(中1)

議場見学会の実施(小6、議会報告会)

I 令和8年度以降 各校において講師を招いて市政について学習(中1、小5)

議場見学会の実施(小6、議会報告会)

##### (3)子ども議会の実施

A 令和8年度  
中学生議会(中2)

I 令和9年度以降  
小学生議会(小6)、中学生議会(中2)

#### 4 予算額

104.2万円

### ■削除理由

- ①公平性の確保(子ども議会の参加者が極めて少数)
- ②教育現場の主体性確保に課題
- ③既存の取組の強化を図るべき

## 扶助費と繰出金の比較

民生費の中で前年度に比べ扶助費の伸びが大きかったのですが、長期の比較をしてみます。

比較したのは、**介護保険施行前の1999年**と、**子ども手当が終わり、児童手当が再開した2013年**、そして**児童手当拡充※が通年となった2025年**です。

※児童手当拡充

- (1) 高校生年代までの支給期間延長 (2) 所得制限の撤廃
- (3) 第3子以降の支給額が月3万円に
- (4) 19歳～22歳年代の上の子について、親等の経済的負担がある場合は子の人数の対象とする

### ■民生費内訳

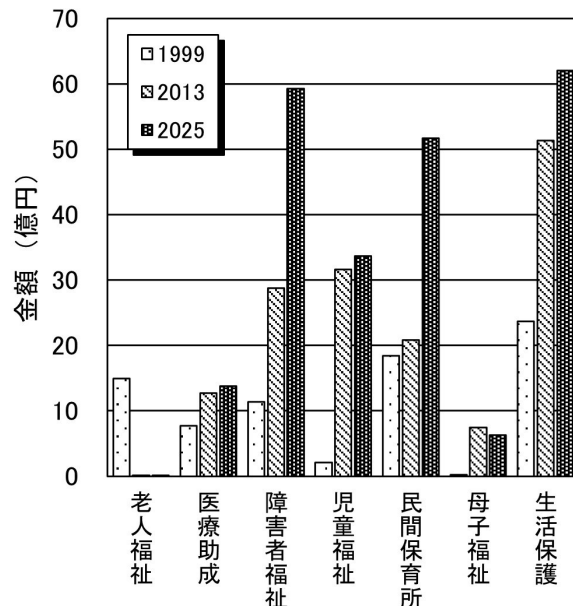
扶助費：生活保護、障害者支援、保育所運営、児童手当、医療費助成

繰出金：他特別会計への繰出金

図1に民生費内訳の比較を示します。2025年度予算の金額的には扶助費が約65%、次いで繰出金が21%となっています。そのうち**扶助費は2.7倍**(1999-2025)にもなっています。**繰出金**は、老人保健の廃止、介護保険と後期高齢者医療の創設により、**3.8倍**(1999-2025)になっています。

図2に扶助費内訳の比較をします。高い伸びを示しているのは**障害者福祉**(サービス給付、通所支援) **民間保育所等運営費補助**と**生活保護**になります。児

図2 扶助費内訳の比較 1999-2013-2025



童福祉(主に児童手当)は、手当拡充がありましたが、2013年と比較すると、児童数の減少もあり大きな伸びとなっていません。

図3に繰出金内訳の比較を示します。国保は減少、介護保険と後期高齢者医療は増加しています。

図1 民生費内訳の比較 1999-2013-2025

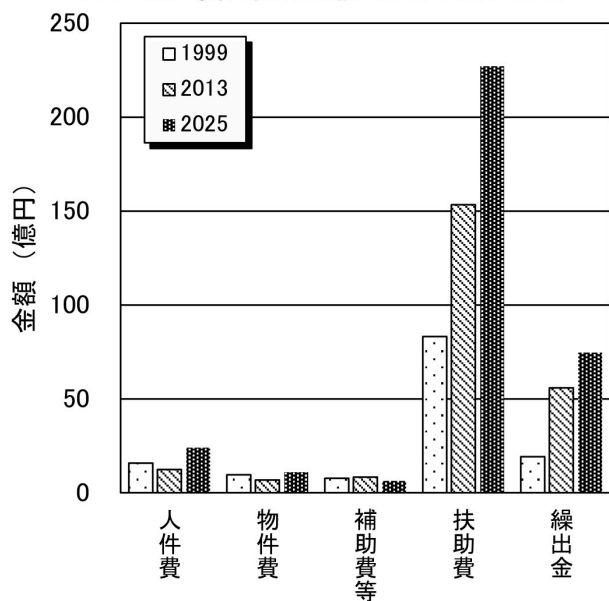
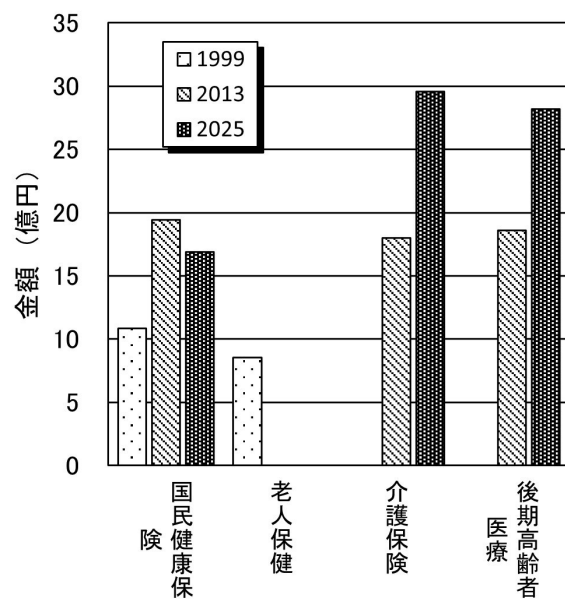


図3 繰出金内訳の比較 1999-2013 2025



### ■お知らせ■

4月の議会報告会は、都合により中止します。



公式HP  
月刊武松パナパニ他



X(twitter)  
防災・感染症情報



facebook  
日々の情報など



令和7年度  
当初予算案の概要



議会は北條五代祭りには不参加